

星屑

2014年 7月号

No. 472

熊本県民天文台総会



熊本県民天文台

5/11(日) 火の君文化センター 学習室1 で
熊本県民天文台総会を開催
遠方からの参加もあり、年に1度の交流会に！



議事はスムーズに

在籍正会員数34名、うち出席者28名（委任状15名）で総会が成立。事業報告・収支決算・監査報告・事業計画・予算案、役員改選と議事はスムーズに進行して、議案は全て承認されました。熊大天文部部長さんの交代に伴う理事1名の任期満了退任と新任の手続きも例年通りです。

連休が明けてすぐの日曜日です、翌週から市内の小中学校の運動会が続くという時期に開催するものですから、スケジュールを調整して参加するのが困難な会員さんもいらっしゃるようです。しかし、一方で、今年も神戸から駆けつけて下さった方や、「退職したから」と初参加された方もいらっしゃるなど、会員さんの事情も様々です。

開台後32年間の月日が流れて、社会情勢も大きく変化しています。団塊の世代の大量退職もあり、会員の構成にも変化が起りそうな気配です。会員数と会費収入の確保を目指しつつ、もう一方で利用者からの「募金」の獲得にも一層の努力をしたいと、皆で確認しました。

記念撮影・お茶会・星屑発行

議事の終了後、表紙に掲載してある

「記念写真」を撮影。テーブルの上に写っているお菓子は、この時すでに会場を離れてしまった西川さんの「代役」です。神戸からのお土産で、「お茶会」の時に皆で頂きました。とてもおいしかったです！ 次いで、参加者全員で星屑の発行作業をし、写真や総会資料も同封、封筒のノリ付けまで完了。「星屑」は、この日のうちに発送されました。

情報交換会

副台長の小林寿郎氏が、月刊「星ナビ」に彗星の解説記事を連載していることは皆さんもご存じでしょう。今回は、その執筆作業の裏側ではどんなことが行われているのかが紹介されました。次々と太陽に接近して来るたくさんの彗星の中から、どの彗星をどのタイミングで紹介するか、そのためにはどうやってデータを整理し管理するかなど、興味深い内容でした。

続いて、運営委員の高田氏が発表、その後、参加者全員から自己紹介と近況報告があつて、12時30分頃お開きとなりました。

総会にご参加下さった皆さん、ありがとうございました。また、出欠ハガキ（委任状）を返送して下さった皆さん、ご協力ありがとうございました、お礼を申し上げます。

5/11(日) 15時00分 から 特別公開 しました 「**ブラジル熊本県文化交流協会**」訪問団 **熊本県出身ブラジル移民の方々が来台**

活発な太陽黒点群を観察して、感嘆の声！ たくさんのお金を頂きました!!

上塚周平顕彰「いっぺいの会」がお世話

「ブラジルからの訪問団に県民天文台を見学してもらおうと思うのです」と「いっぺいの会」代表の方から電話を頂いたのは、総会前々日の金曜日の夜でした。「日曜日の午後3時半頃に来ます、晴れていれば夜にもう一度」「県民天文台の説明だけで良いから・・・」とのご希望でした。その日程は、ちょうど総会が終わった直後、たぶん私はくたびれ果てているはずの時間帯、夜の一般公開に向けて一休みしたい頃なのですから、「何とかします」とお引き受けしました。

訪問団のお世話をしているのは、城南町出身で「ブラジル移民の父」と呼ばれる上塚周平氏を顕彰しようという会の方々。直前まで「週末は雨！」という天気予報だったけど、ここへ来て天気が回復傾向になってきたので、急遽予定を組み替えたのだとか。「城南町に来るのだから、やっぱり県民天文台でしょう」なんて言われると、嫌だとは言えませんよね。

当日になって

総会が終わり、天文台にやっていたら、雲はあるけど空は青く、太陽が見えています。これからあいでになるのは公開天文台などありそうもないブラジルからの訪問団、しかも熊本県出身者やその後継者さん達ですから・・・。

急遽、日食観測や金星の太陽面通過の時に使った減光フィルターを探し出して準備、余分な光学系には全て遮光の処置をしてから、望遠鏡を太陽に向きました。

すると・・・、この日は巨大な黒点群が太陽面にたくさん出現していました。太陽の赤道を挟むように2列にならんでおり、暗部と半暗部が、誰の目にもハッキリ分かるほど発達していました。

で、訪問団の来台を待っていたのですが・・・。

良いお天気になったからか、古墳公園内は大勢の家族連れで賑わっています。天文台近く

の東屋にも2・3家族ほどが一緒に楽しそうに遊んでいたのです。その人たちにも観測室の屋根が開いて大きな望遠鏡が空に向かって突き出され、私が時々接眼部を覗いている様子が見えていたのです。しばらくすると、「何が見えるんですか?」「入っても良いですか?」と声をかけてきました。



そこで、「ええ、どうぞ! 太陽にすごく立派な黒点が、たくさん見えていますよ!」と返事をして、観測室に上がってもらい、15時頃から特別公開を始めたわけです。この方たち玄関の案内板を読んでいたらしく、「いつも、昼間は開いていないのですよね?」と、質問してくれました。そこで、「ブラジルからの訪問団が来る予定なのです、それで特別に公開を準備中」だと説明。「訪問団が到着するまでは楽しんでいて良いですよ」と、解説を始めました。

観測室に大人や子供がいて楽しそうだからか、この様子を見て、数組が続いてやってきました。こうやって、訪問団が到着した15:50頃までに、15名ほどが太陽黒点の観察を体験され、喜んで下さいました。

熱心な質問が次々

予定時刻よりも少し遅れて到着したブラジルからの訪問団、引率の方々を含めて総勢23・4名だったでしょう。「天文台」を訪問するのも「望遠鏡で太陽を見る」のも初めてだった様子、とても感動して下さいました。あまけに、この日は黒点群がそれはすごいのです。「いつもこんなにたくさんあるのですか?」「黒点とは何ですか?」「どうして黒く見えるのですか?」などの質問に始まって、宇宙の成り立ちやブラックホールのことや、星雲のことなど、様々な質問が観測室を飛び交いました。

解説する私も楽しくて、マイクアンプを駆使して、解説し続けたのでした。すると、「この天文台はボランティアでやっているんだって?」などと言いながら、募金をしたいと申し出る人が現れました。これは全く予想していなかった展開です。そこで、用意していた「お土産写真」を訪問団の皆さんに一枚ずつプレゼント。

いやー・・・、これがブラジルからの訪問団さんの感動を倍増させたのでしょうね、次々

と募金箱への募金の投入が相次ぎました。中には、ボロボロにすり切れかかった「百円札」を投入して下さる方もいて・・・、今度は私の方が大感激、でした。

だって、それは「故国日本で使おう」と、大切に保管してきたはずの「百円札」でしょう。それを、お土産を買うためではなく、私たちの県民天文台ために募金して下さったのですから。

写真を撮ろうと

この日は、訪問団の一行が観測室で望遠鏡の周りにいる様子を撮影しようと、高い位置に



三脚を据え、超広角レンズで構図も決めて、無線リモコンまで装着して準備を完了していました。到着前に公開を始めた頃はまだ余裕があって、パシヤ・パシヤと観測室の様子を撮影してあいたのですが・・・、訪問団さんが到着したあとは頭の中が真っ白だったようです。観測室の様子を撮影することを全く失念してしまいました。

それで、撮影できたのは、一行が天文台の玄関を出たあと、バスに向かうところだけ。せっかく準備したのに・・・、この結果とは・・・、とても残念でした。

5/18(日) 熊大の磯部先生経由で 「赤道儀架台数組」の寄贈を頂きました

NJP・MS-4・GPD・SPD・GPDポタ赤仕様、10cm鏡筒、各1台

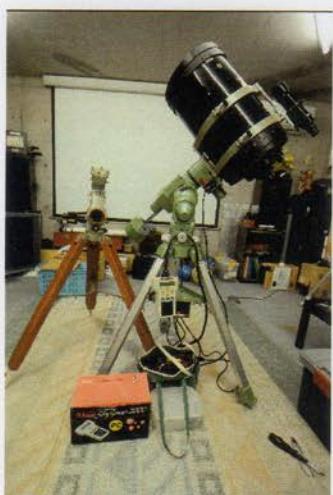
スカイセンサー2000 4セットが付属、出張観望会用に活用いたします!



横溝さんの遺品

「GPD型など赤道儀架台だけあって、鏡筒はついていないのだけれど、活用してもらえるでしょうか?」というお話を伺ったのは、総会での「お茶会」の時でした。「出張観望会に使える赤道儀が欲しくて欲しくて、大歓迎です! とお答えし、お互いの都合の合う日に点検しましょう」とお約束。その後、お電話を頂いて、1週間後の日曜日（5月18日）に、架台数組を県民天文台まで運んで頂きました。

これらは、何年か前に大分大を退職された横溝さんの遺品だそうです。退職後は熊本市内にお住まいでしたが、昨年秋、お散歩中に心臓発作が起きて急死されたのだそうです。遺族のご希望で、地質学関係のつてを辿り、磯部先生に「活用して欲しい」と託されたようです。



MS-4 赤道儀 から

整備に着手。早速、C-11鏡筒の鏡筒バンド取り付け金具を改造して、MS-4赤道儀に載せられるようにしました。これまでVIXENのセンサー赤道儀に搭載して、出張観望会に出かけていましたが、それと比べると格段の安定性です。

ついでに、ファインダーの支持金具もアリ型アリ溝方式に改造。簡単に脱着できるようにしました。これで、組立時の光軸そろえがずいぶん楽になるはずです。

さらに、スカイセンサー2000PCとパソコンを接続、自動導入できる仕組みにまで発展させました。他にもあちこち、分解組立を楽にする仕組みを導入。これから大いに活躍してくれそうです。寄贈に感謝!!

5/30(金) 城南公民館講座 「ホタルの観察会」天文台を拠点に開催

開催日前、暑い日が続いて例年よりホタルの発生が早く、ちょっと心配も!

川沿いの林が「ミニ・クリスマスツリー」状態に見え、参加者は大喜び!!

光害とホタルの関係についてもしっかり解説、生息地一帯を歩いて観察

ホタルを撮影した「お土産写真」も大好評でした



集合は天文台

「古墳公園内の駐車場に集合してはどうか?」という打診もあったのですが、「集合は、天文台」、「大画面と電子紙芝居を使って、しっかり解説してから出かけたいので」と提案しました。気軽な「ホタル見物」としてではなく、「ホタルと人との共存」「光害とその防止策」などについても学べる、環境教育活動として実施したかったからです。解説では、大画面にホタルを撮影した画像を投影して、参加者持参のデジカメなどで撮影練習もして頂き、「フラッシュを発光禁止に設定する」ところまで済ませてから、出発しました。

19:45 現地到着、それから1時間

メリ穴公園の駐車場に車を止めて、そこから川沿いを歩きながらホタルの観察を行いました。歩き始めたときは日没からまだ間がないので、空は薄明るく、周囲を見回してもまだホタルの姿がありません。

でも、心配はすぐに吹き飛びました。歩き始めると少しずつ周囲が暗くなつて行き、周囲の草叢や林の中にチラホラとホタルの明滅が見え始めました。そんな様子を楽しみながら、川沿いに杉や雑木が茂っている場所にさしかかると、皆が歓声を上げました。林の高い位置にまでホタルが乱舞、同期しながら一斉に明滅する様子は、まるで電飾のついたクリスマスツリーのような状態だったのです。

この夜のホタルの出現数は、例年のピーク時の出現数にはとても及んでいませんでしたが、それでも参加者たちにとっては初めて見るすごい光景だったようです。何とかデジカメやスマホで撮影しようとチャレンジする人もいて、大いに楽しんで頂けたようです。観察会、成功!

★★★ これからのスケジュール ★★★

- 6/25(水) 山鹿市菊鹿町生涯大学**
☆☆☆ 10:00～ 菊鹿公民館で開催（予定）☆☆☆
- 7/11(金) 天草市本渡北小学校「月と星の観察会」**
☆☆☆ 19:00～ 本渡北小で開催 ☆☆☆
- 7/16(水) 山鹿市鹿北町生涯大学**
☆☆☆ 鹿北公民館で開催（予定）☆☆☆
- 7/25(金) 光の森第1町内子ども会 星の観察会**
☆☆☆ 20:00～ 武藏丘小学校で開催（予定）☆☆☆
- 8/1(金) フィールドミュージアム「夏の星空観察会」**
☆☆☆ 20:00～ 県民天文台で開催☆☆☆
- 8/2(土) 城南公民館講座 「夏の星空観察会」**
火星・土星・月と夏の星座（写真撮影も）
☆☆☆ 20:00～ 県民天文台で開催☆☆☆
- 夏から秋にかけて、たくさんのイベントが入りそう
ご協力、よろしくお願いします！**
- 9/6(土) フィールドミュージアム「月を撮影しよう！」**
☆☆☆ 20:00～ 県民天文台で開催☆☆☆
- 10/18(土) 熊本県環境センター「星の観察会」**
☆☆☆ 水俣市の熊本県環境センターで開催 ☆☆☆
- 10/26(日) 火の君祭り**
☆☆☆ 10:00～ 塚原古墳公園で開催 ☆☆☆
これが最後の開催かも知れません
年度末で、熊本市との合併に伴う合併特例区事業の期間が終了

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

ついに梅雨入りです。ここ数年は、しとしと小雨が降り続く梅雨というより、降れば土砂降りという、災害につながるパターンが多いのですが、今年はどうなんでしょう。被害が出ない程度に降ってほしいなあ。雨はこの時期必要ですし。まあ、梅雨入りした途端、雨は降らなくてもべた曇りの毎日。このまますっきりしないお天気が1か月続くのかな…去年の7月7日のような梅雨の晴れ間の透明度の良い星空を期待しましょう。

梅雨入りする直前、螢が飛び交う様子を撮影しました。ちょっと時期を過ぎたのか少なめでしたけれど、火星・スピカ・土星と星が並んでいる様子と一緒に撮れて満足。



螢

夕空に鋭く引っかかった猫の爪が
ゆっくり沈み始めたころ
小川のそばの草むらに
小さな光が点った

ひとつ から ふたつ みつつ よつつ
増えるたびに
うねるような脈動となる 光

たった一年の一生の 最後の最後に
全力で伝えるメッセージ

ワタシハ ココニ イル

星の欠片の兄弟たちよ
宇宙の中で ささやかな命を紡ぐ 兄弟たちよ
(ワタシモ ゼンリョクデ ヒカリタイ ト オモウ)

やがて
火星や スピカや 土星と いつしょに
光 光 光 光
脈打つ光の群れ
暗い木立の中に点る小さな星になる



By Dio

2014年5月の県民天文台

～運営日誌より～

開台率 12日／14日=85. 71%

総開台日数 19日

一般来台者数 325名

会員来台数 52名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
2日 (金)	晴れ	艶島 西嶋 小林 J 高田	9人	月、木星、火星、M51,パンスターズ彗星、土星、M13
3日 (土)	晴れ	中島 艶島 小林 J 島浦	17人	月、木星、火星、土星、M104,M13,ベガ 連休ということで賑やかでした。大分から来られたという方もいて、熱心なお客さんでした。
4日 (日)	くもり	艶島	0人	「今夜は公開ですか?」と昼間に数本の電話をもらっていたのでやってきました。ですが、月も見えないほど一面の厚い雲。21hで終了します。
5日 (月)	くもり	艶島 小林 M	15人	月、木星、火星、土星 土星を携帯やスマホで撮影してもらいました。 雲が多かったのに、ちゃんと輪が分かる姿に写せていて、驚きました。
6日 (火)	晴れ	艶島	0人	連休の最終日。特別公開をしたけれど残念ながら来台なし。月も星もとてもきれいに見えているのですが… 月面と夜の天文台を撮影 21hで終了
9日 (金)	くもり	小林 中島(ちょっと応援)	9人	木星、月、火星、土星を見ていただきました。 皆さん募金してくれました。米原さんが日伯交流会で日曜日に来台したいそうです。一家族はひげさんのご近所さんだったとか…
10日 (土)	晴れ	艶島 高田 中島 小林 J	11人	月、木星、火星、土星 Talk About 星屑発送・総会準備

日付	天気	担当運営	来台数	記事
11日 (日)	晴れ	艶島	33人	天文台総会・・・記事参照(15人) 上塚周平顕彰会一行来台 太陽、大きな黒点がたくさんあって見事でした。ブラジルから来た人たちが熱心に質問して、募金もいただきました。
		艶島	3人	月、火星 月や惑星等についてたくさん質問をいただき楽しく解説。ブラジルからの訪問団は来台されませんでした。
16日 (金)	晴れ	小林J 高田 西嶋	12人	木星、月、火星、土星 快晴と楽しみにしていたのにちょっと寝ぼけた空でした。シンチレーションも悪くゆらゆらぼけぼけ。でもお客様には喜んでいただけました。高田さんが「ふるさと山鹿大使」の富田さんを連れて来台。初めてというファミリー2組常連さん2人
18日 (日)	晴れ／くもり	艶島 小林M	3人	木星、火星、月 磯部さんから架台(JP,MS4,GPD,GP等)の寄贈がありました。大分大学の横溝元教授の遺品だそうです。
19日～ 22日	22日	艶島		架台の整備と改造等 詳しくは記事参照のこと
25日 (日)	くもり	艶島	1人	熊大大学院の学生が来台。公開天文台の活動などに興味を持っていて、それを研究テーマにしようと考えているようです。いろいろとお話をしました。また来るとのことです。
24日 (土)	くもり	中島	200人	阿蘇内牧のキャンプ場で中学生相手の観望会 土星と、火星・木星。雲がなければ・・・・！
26日(月)	くもり	艶島		望遠鏡架台のテスト
30日 (金)	晴れ	小林J 西嶋 艶島	6人	木星、火星、土星、M13 晴れているのにどんよりな黄砂の空。しかし土星は結構きれいに見えていました。
31日 (土)	晴れ	中島 西嶋 小林J	6人	彗星、月、木星、火星、土星、アンタレス ミザール・アルコル 4歳の男の子が何と星博士。一家族はこれから天の川観望へ！ 土星・彗星・K1撮影

B5のたわごと

熊本は6月2日に梅雨入りしました。ですが、さほど雨は降っていません。関東地方はメチャ降っているのですが、今のところ熊本は小雨状態です。大雨も困りますが、小雨も水不足とかで困るんですよね。因みに、雨が降らないからといって晴れている訳でもなく、ドンヨリとした曇り空が殆どなので、それもまた何だかなあ。大きな機材は乾燥剤を入れたゴミ袋に入れて、機材が壊されないようにしました。あ、そのまま捨てられたりして…。

☆7月の天文現象＆行事☆

- 4日（金） 地球が遠日点通過 (09:13 152093407km)
- 5日（土） 上弦（20:59）
- 6日（日） 夕方の南の空に、月と火星とスピカが並ぶ
小惑星ベスターと準惑星ケレスが最接近（01:44）
天王星が西矩(16:10 5.8等 視直径03.5")
- 7日（月） 七夕
小暑（しょうしょ … 暑気に入っていよいよ暑くなる）
- 12日（土） 火星が東矩(03:52 0.2等 視直径08.8")
満月（20:25）
トークアバウト（20:00～ 天文台にて 変更の場合もあります）
- 13日（日） 水星が西方最大離角 (03:22 0.3等 視直径07.9")
- 19日（土） 下弦（11:08）
- 22日（火） 夜明け前の東の空に、ヒヤデス星団と細い月が並ぶ
- 23日（水） 大暑（たいしょ … 一年で最高の暑さ）
- 25日（金） 木星が合(08:42 -1.8等 視直径31.3")
- 27日（日） 新月（07:42）
- 28日（月） みずがめ座δ南流星群が極大のころ
月の距離が最遠 (12:28 406567km) 本年最遠
- 30日（水） やぎ座α流星群が極大のころ

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2014年7月号 通巻472号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

マーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで